

学校だより
第49号

報徳

R3.12.24

校長 松下 公博

みんな成長しました

2学期が終わりました

2学期が終了しました。感染対策のために分散登校が始まった今学期、無事に過ごせるだろうかと不安もありましたが、感染状況も落ち着き、見学旅行や修学旅行、運動会などたくさんの行事を行うことができました。それぞれの取組で子ども達はしっかり頑張り、みんな成長しました。今年度からこの時期の通知表が無くなりまし

たので、一人ひとりの頑張りを十分にお伝えすることができませんが、子ども達に尋ねてみますと、「跳び箱が跳べるようになりました。」「友達と仲良くできました。」「あいさつが上手になりました。」「自分なりの成長を感じていました。2学期に培った力を3学期更に伸ばしていったほしいと思います。みんなよく頑張りました。

一文字で表すと

先日、授業研究会を行いました。この会ではどのようなやり方をすれば子ども達の力を伸ばせるか、みんな考えていきます。その中で若い先生が自分の実践を紹介してくれました。最後の振り返りの時に、「漢字一字で表すと」とみんなで出し合おうというものです。例えば国語の物語文の学

習で「今日の場面のゴンの気持ちを漢字一字で表すと『喜』です。それは、栗やまつたけを兵十に届けて嬉しかったからです。」という具合です。周りの友達は「どうしてその漢字なのかな？」と興味を持って耳を傾けるそうです。若い先生たちのアイディアには感心します。

さて、今年の漢字一文字は「金」でした。オリンピックの金メダルラッシュ、大谷選手や藤井八段が打ち立てた金字塔、持続化給付金など「金」にまつわる話題が多かったからだそうです。残念ながら私にはあまり縁のない文字でした。私の一文字は「節」です。意味はくぎり、けじめです。今年、私は、八月に父を亡くし、十一月に還暦を迎えました。



人生の大きな節目となる1年だったと感じます。生きていくと様々なことに出会います。大きな出来事があると、これまで過ごしてきた日々を振り返り、少しは成長できたかなと実感して、これから始まる新たなステージに希望を持って歩み始めます。人生を過ごすことはこの積み重ねなのでしよう。自分の人生を豊かなものにするために節目と節目の間の時間を大切にしたいと思います。

十一月二十一日にPTAによる愛校セーリングが行われました。昨年度も感染状況が落ち着けばやれるように準備をされましたが残念ながらできませんでした。今年はその準備が活かされて安全に充実した活動ができました。

熊日池田販売店さんの協力もいただき、子ども達は楽しいひと時を過ごしました。子ども達のために何かしたいという熱い気持ちと、安全対策に十分配慮された計画、たくさんの皆さんの協力に感謝しました。子ども達のために本当にありがとうございました。